

札幌社保協 FAXニュース

2009年 10月29日(木)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

次回の国保・介護・
後期高齢者110番は
11月26日(木)です。

後期高齢者医療制度なぜすぐ廃止にしないの! 4年後廃止では、自分は生きていないかも・・・

中央区の南円山地域で27日、後期高齢者医療の学習会が行われ、齊藤札幌社保協事務局長が講師で参加しました。

齊藤事務局長は、選挙で政権が変わって「これで廃止だ」と皆が喜んだのに、厚労大臣が2013年に廃止と言いつけているのは、民主党の政策が県単位の医療保険一元化にあることや、官僚、自治体からの抵抗もあることなどを紹介しました。

14人の参加者からは、「廃止してほしい」という声が続々と出されました。奥さんと参加した80代の男性は「4年後に廃止と言われても、自分は生きていられないかもしれない」と話していたのが印象的でした。参加者は、廃止署名と共に、厚労大臣宛の要請用紙をその場で書いてくれました。



札幌中央区南円山での学習会。質問も怒りの声もたくさん出ました。

新型インフルエンザ疑いで病院にかかりたいが、払えない時は区役所へ相談を 札幌市が国保資格証明書世帯に通知を発送

札幌社保協などが10/7に新型インフルエンザ対策で、資格証明書世帯へ臨時の保険証の発行を求めていた際に、相談があればまず保険証を出して対応することを回答していました。その後市議会で共産党の伊藤りち子市議が同様の対策を求めた所、10月中旬に対象世帯に案内文書を送ることになりました。

「新型インフルエンザが流行しております。感染の疑いがあり、医療機関で受診する際に医療費のお支払が困難な場合には、区役所保険年金課にてご相談ください。」というものです。文章が分かりづらいのと、ここまでするなら臨時で短期の保険証を出す方がよいと思われませんが、臨時に通知を送ることにしたことは、前進です。私たちの要請の効果もあったというものです。

保育所増やして!子どもを商品にしないで!

新政権に変わっても保育制度改悪は止まるどころか、進みつつあります。札幌保育労組は10/17にパルコ前で、街頭宣伝と署名を74人が参加して行いました。

待機児童数—実は2倍!

札幌市は7/1の発表で585人の入所待機数と発表していましたが、実態は1123人だったことが、共産党井上ひさ子市議の追及で明らかになっています。これは厚労省の通知で、「第1希望しか出していない子どもの申し込みは数えなくて良い」に合わせたからです!



10/17パルコ前での保育労組の宣伝

生活保護母子加算復活～喜びの総会

生活保護母子加算が12月から復活と閣議決定された翌日の10/24に、生存権裁判を支援する会の第3回総会が開かれました。5人の原告と1人の審査請求人を始め、支援者ら120人が参加しました。

参加者、原告はたたかいと運動が復活の成果をもたらしたことを喜びと同時に、来年度予算での継続や、引き換えの高校就学費、学習支援費の削減に反対し、生活保護をよくする運動を続けよう確認しました。

